

グリーン・ピックス

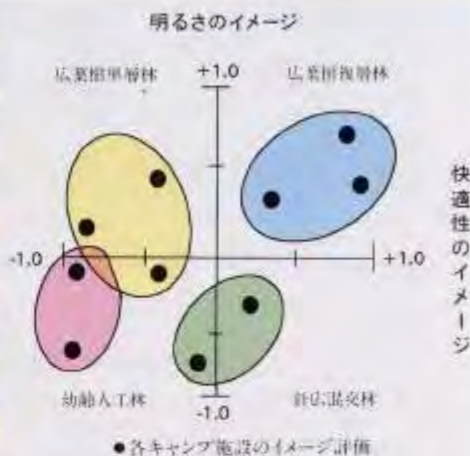
北海道立林業試験場

No.11

林間キャンプ場に見る森林のアメニティ



ヤチダモ樹林地内につくられた道民の森月形地区学習キャンプ場



キャンプ場の林相と快適性

キャンパーが周辺の森林に対し、どのようなイメージをもち、どのように森林を評価しているかを調べました。

広葉樹の複層林は、「快適」で「明るい」イメージが強く評価が高いのに対し、針葉樹幼齢人工林では両方のイメージが弱く評価も低いなど、林相によってイメージや評価が異なることがわかりました。また、キャンプサイトを含めた樹林面積が広くて太い樹木が多いほど「快適」イメージは強くなり、広葉樹の比率が高くて、林内がすいているほど「明るい」イメージが強くなる傾向もみられました。

これらのことから、キャンパーにとっては、居住性の高い設備だけでなく、「快適」で「明るい」イメージの森林が不可欠であるといえます。



ハルニレ・カツラ高幹木中心の道民の森一番川地区オートキャンプ場

グイマツ雑種F₁の植栽本数



グイマツ雑種F₁植栽試験地

試験地にはha当たり 500, 1000, 2000, 4000, 8000, 32000本の植栽本数の異なる試験区を2回反復設定しています。

9年間の平均直径の推移をみると(図-1), 最初の3年間は密度に関係なく一定ですが, 5年目になると中間的な2000~4000本区が最大の平均直径を示すようになり, 7年目以降は1000本ないしは500本という低密度区が最大になります。このことから時間が経つにつれ, 高密度よりも低密度のほうが成長が良くなるのが分かります。しかし, 枝の枯れ上がりは高密度ほど高くなり, その傾向は時間とともに促進されます(図-2)。低密度でも, やがて枝は枯れ上がってくると予測されますが, 進行はかなり遅く, 節が残る可能性もあります。したがって, グイマツ雑種F₁の最適な植栽本数はやや低密度の1000~1500本程度であると考えられます。



高密度区A(8000本/ha)と低密度区B(500本/ha)の比較
低密度区のほうが樹径は大きい, 枝が枯れ上がらず太いことが分かります。

グイマツ雑種F₁は野ネズミの被害を受けにくい, 従来のカラマツ造林のha当たり2500本の植栽よりも少なく植えてもよいと思われます。しかし, 疎植だと枝が枯れ上がらない心配があります。このような観点から, グイマツ雑種F₁の最適な植栽本数を探るために行った植栽密度試験の9年間の結果を紹介します。

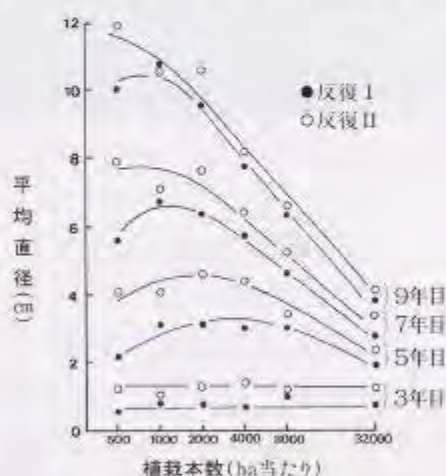


図-1 植栽密度と平均直径の関係

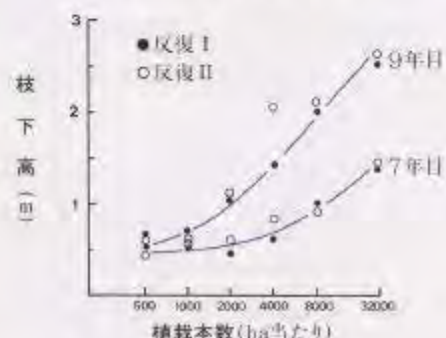


図-2 植栽本数と枝下高の関係

河畔林をつくるヤナギ



ヤナギ林におおわれた河川（美唄川）

全国的に河川環境に対する関心が高まって、道内でも魚道の整備や、河畔林造成が行われ始めました。ヤナギは河畔でもっとも普通に目にする樹木ですが、道内では10種類余りがみられ、それぞれにやや異なる生育特性をもっています。いずれのヤナギも非常に小さな種子を大量に散布し、湿った場所で直ちに発芽します。また、発根がよいため、多くは挿し木で増やすことができ、他樹種よりも水没に強いいため、河岸での生育を有利にしています。

ヤナギ類の生育特性		
冠水、滞水に耐える 低湿地向き	←————→	長期の水没には弱い 排水良好地向き
タチヤナギ		ドロノキ☆
エゾノカワヤナギ	エゾノキヌヤナギ	*オソバヤナギ☆
イヌコリヤナギ	ナガバヤナギ	*クシヨウヤナギ☆
	エゾヤナギ☆	シロヤナギ☆
		ネコヤナギ

★：挿し木で増やしにくい樹種
☆：大径木になる樹種



最も普通にみられるナガバヤナギ
（種子・6月上旬）



十勝川流域に多いクシヨウヤナギ
（トウタベツ川）



冠水に最も強いタチヤナギ
（雄花・5月中旬）

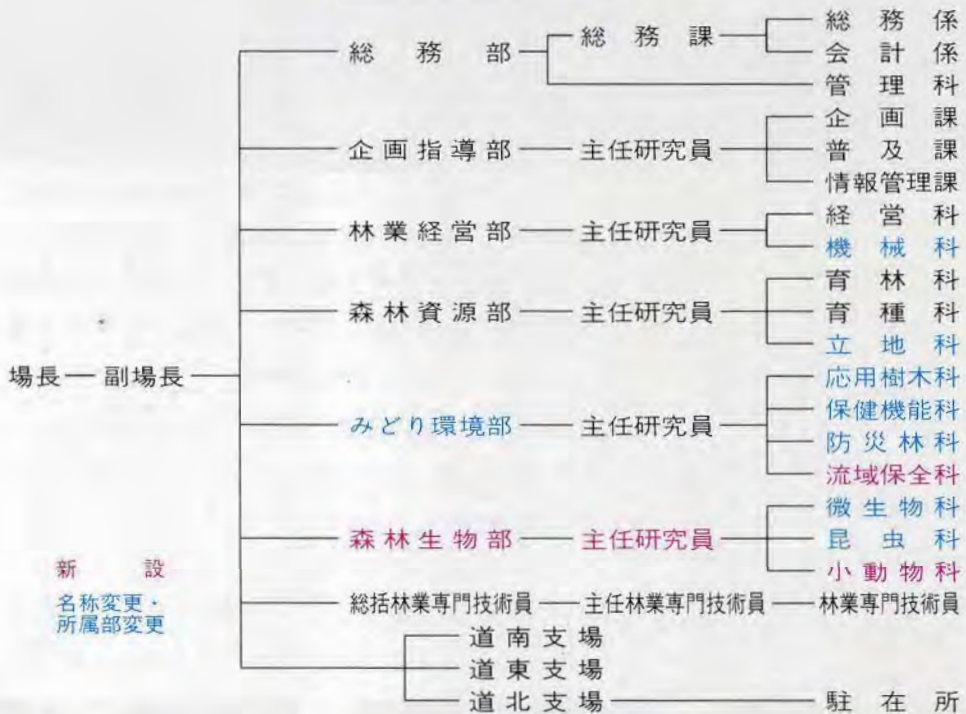
林業試験場の 組織機構

近年、森林は地球環境や身近なみどりなどの面から見直されるなど、環境財、文化財としての要請が一層高まっています。しかし、一方では、産業活動や生活水準の向上により木材の

消費量はますます増大する傾向にあります。

そこで、林業試験場では、以前にもまして、森林資源の充実、木材生産の合理化等の技術開発を推進するとともに、森林・みどりによる環境改善の機能をさらに高める技術開発を進めるために、平成6年度から、次のように組織を改正しました。

組 織 図



グリーンダイヤルは
あなたのダイヤルです。

「山づくり」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。



連絡先

林業試験場 本 場 TEL 01266-3-4164 FAX 01266-3-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 01566-4-5434 FAX 01566-4-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164

発行年月 平成6年10月
発 行 北海道立林業試験場
〒079-01 美唄市光珠内町東山